

研究実施のお知らせ

2025 年 6 月 17 日 ver.2.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院泌尿器科における前立腺癌の手術・薬物・放射線治療の後ろ向き観察研究

研究の対象となる方

2012 年 11 月から 2023 年 4 月の間に島根大学医学部附属病院泌尿器科で前立腺癌と診断され、手術・薬物・放射線治療を受けられた方

研究の目的・意義

2012 年 11 月、島根大学医学部附属病院に da Vinci surgical system が導入され、泌尿器科では前立腺癌に対してこのシステムを用いたロボット支援手術を行い、10 年以上が経過しました。また放射線療法についても従来の定位照射から部位によって放射線の強さを変えることのできる強度変調放射線治療が標準治療となって来おります。また、手術や放射線治療が不適格な場合でも様々な新規ホルモン薬が登場したことにより良好な癌制御を得ることができるようになって来ております。しかしながら、様々な治療方法があるために、個々人の背景を鑑みた時の最良な治療方法の提示については現在明らかになっていない点もあります。そのため、今回ロボット支援手術、放射線治療、ホルモン治療を行った患者の背景、治療内容、長期成績（有害事象、生命予後）を後ろ向きに解析し、これまでの治療成績、有害事象の種類と発生頻度を把握するとともに、治療成績に影響を与える因子を考察し、今後の診療の改善に役立てようと考えています。

研究の方法

2012 年 11 月から 2023 年 4 月の間に島根大学医学部附属病院泌尿器科で前立腺癌に対して手術・薬物・放射線治療を受けられた方のカルテから、患者さんの背景、病気の状態（身体診察、検体検査、画像検査、病理検査）、治療、有害事象の有無、程度、内容、治療後の経過について情報を収集します。これらの情報を解析して治療の有効性、有害事象の種類や頻度を明らかにし、今後の診療のさらなる改善に努めます。

研究にあたっては、対象となる方の個人情報容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「氏名、カルテ ID を削除した情報（どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として統計学的手法により解析します。

研究の期間

2023 年 5 月 15 日～2026 年 3 月

研究組織

この研究は島根大学医学部泌尿器科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部泌尿器科学講座 和田 耕一郎

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方から 2023 年 12 月までに利用停止を申し出いただければ利用を停止できますとしておりましたが、既に解析を行っているためお申し出を受けることができません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部泌尿器科学講座 和田 耕一郎

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2253 FAX 0853-20-2250